

令和7年度救急医療関係功労者知事表彰 名簿

(敬称略)

No.	氏名等	所属等 (所在地)	役職等	年齢	功績内容
1	いりょうほうじんしゃだん こうとくかいおかべりょういん	糟屋郡宇美町	-	-	救急告示病院及び二次救急医療体制の病院群輪番制病院として、直近3年間は毎年、300件以上の搬送を受け入れ、コロナ禍では陽性者の救急搬送を積極的に受け入れるなど、地域の中核病院として救急医療体制の堅持に尽力。
	医療法人社団廣徳会 岡部病院				
2	なからい としこ	医療法人社団聖風園 半井病院 (久留米市)	院長	77歳	昭和50年から永きに亘り救急医療に尽力され、休日においては日祝日在宅医療機関として努めるなど、地域の救急医療体制の堅持に貢献。
	半井 都枝子				
3	とくがわ けん	青木内科循環器科小児科 クリニック (福岡市)	-	75歳	福岡市立急患センターに36年の永きに亘り出務し、出勤回数が1,000回を超えるなど、福岡市の救急医療体制の充実に大きく貢献。
	徳川 健				
4	さくらい としひろ	地方独立行政法人 芦屋中央病院 (遠賀郡芦屋町)	院長	73歳	救急告示病院の院長として、地域の救急患者の受入れを率先して行うとともに地域の救急医療に係る協議会の委員を歴任するなど、その体制の構築と充実に貢献。
	櫻井 俊弘				
5	ひろせ いちろう	広瀬内科麻酔科医院 (北九州市)	院長	69歳	平成9年から北九州市の一次救急医療機関として地域の救急医療に尽力されるとともに、市立急患・休日夜間センターへ出務するなど、北九州市の救急医療体制の堅持・維持に貢献。
	廣瀬 一郎				
6	おおうちだ まさなお	杉循環器科内科病院 (大牟田市)	院長	64歳	昭和62年から県内の医療機関にて救急医療に従事。また、救急告示病院の院長として、救急医療対策の充実強化のための諸施策の企画立案・実施を通じて近隣の救急医療機関や消防本部との連携強化を図るなど、地域の救急医療体制の維持・発展に貢献。
	大内田 昌直				
7	あさひ たかひろ	あさひ小児科クリニック (宗像市)	院長	60歳	平成2年から県内の医療機関にて救急医療に従事。また、平成18年から、宗像地区急患センターへ出務するなど地域の救急医療体制の堅持・維持に貢献。
	旭 隆宏				
8	いのうえ だいすけ	社会医療法人北九州病院 北九州総合病院 (北九州市)	看護師長	50歳	平成11年から県内の医療機関にて救急医療に従事。現在、地域の救急医療体制の要である救命救急センターの救急外来師長として組織運営と安全管理に携わりながら、安全な医療提供体制の整備に努めている。
	井上 大輔				
9	まつなが しんいち	福岡市消防局	消防司令	57歳	平成12年から救急救命士として、救命現場の第一線で勤務するとともに、後進の育成においては運営の調整や教材の改善に尽力するなど救急隊員、救急救命士の資質向上及び救急業務の推進に貢献。
	松永 伸一				
10	なかしま たかし	久留米広域消防本部	消防司令	55歳	平成13年から救急救命士として救命現場の第一線で勤務するとともに、指導救命士として消防署内の救急業務の検証体制の確立を図るなど、消防本部全体の救急業務の充実に貢献。
	中島 隆				
11	のむら おさむ	北九州市消防局	消防司令	59歳	平成15年から救急救命士として、救命現場の第一線で勤務するとともに、研修所の教員として述べ400人の後進の育成に尽力するなど、救急救命士の資質向上に貢献。
	野村 修				